

「神との約束に生きる」愛と自由に生きる①

出エジプト記20章1～17節



自分の人生をしっかりと築こうとするなら、変わることがない一貫した基準が必要です。私たちは、聖書を読んでもわからなくて、また自分の思いにフィットするような導きがなかった時、結局は人の目やこの世の流れに流されてしまわないでしょうか。

「十戒」は、神を信じる私たちが具体的な問題に向き合うために、根本的な立ち位置、ものの見方、考え方を教えています。

① 律法のある人生

“神である主は、その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。” 創世記2:7

“イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。” マタイ22:37-

② 「わたしは、あなたの神」と言われる神

“それから神は次のすべてのことばを告げられた。「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。”

“あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。”19:

“それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」」ヨハネ20:27-28

③ 愛と自由に生きるために

“イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」」ヨハネ8:31-

<話し合ってみましょう>

- ・「律法」についての思いやイメージについて自由に話し合ってみましょう。
- ・自分の行動や生き方に影響を与えている「自分の律法」にはどんなものがありますか。